

金融で未来を拓く

F P G Financial
Partners
Group

2024年9月期 第3四半期 連結決算説明資料 (2023年10月～2024年6月)



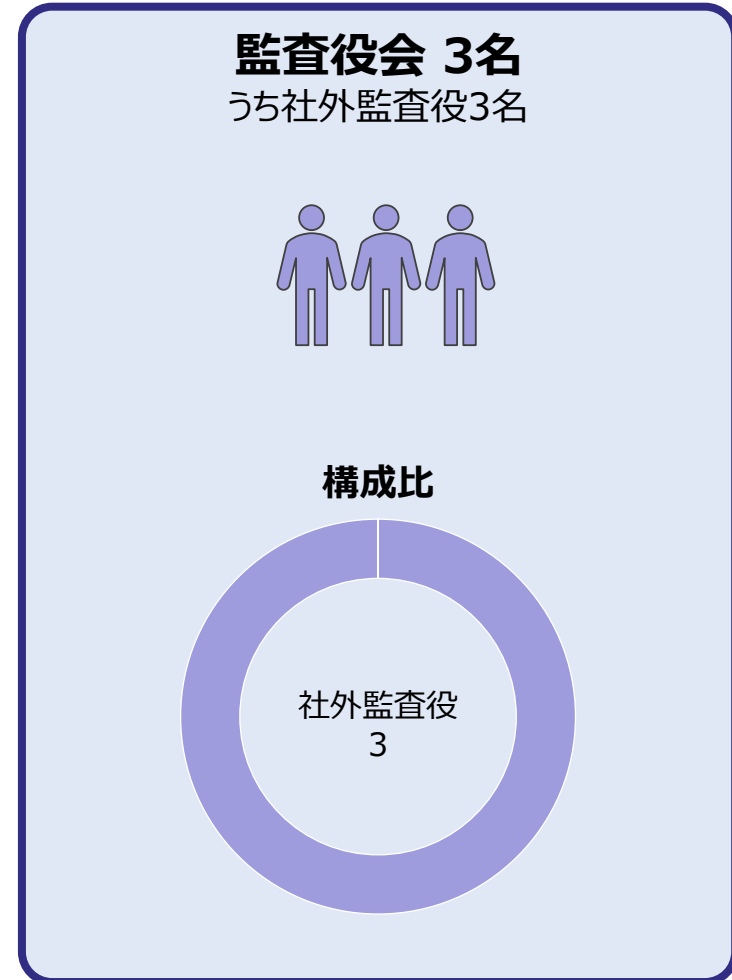
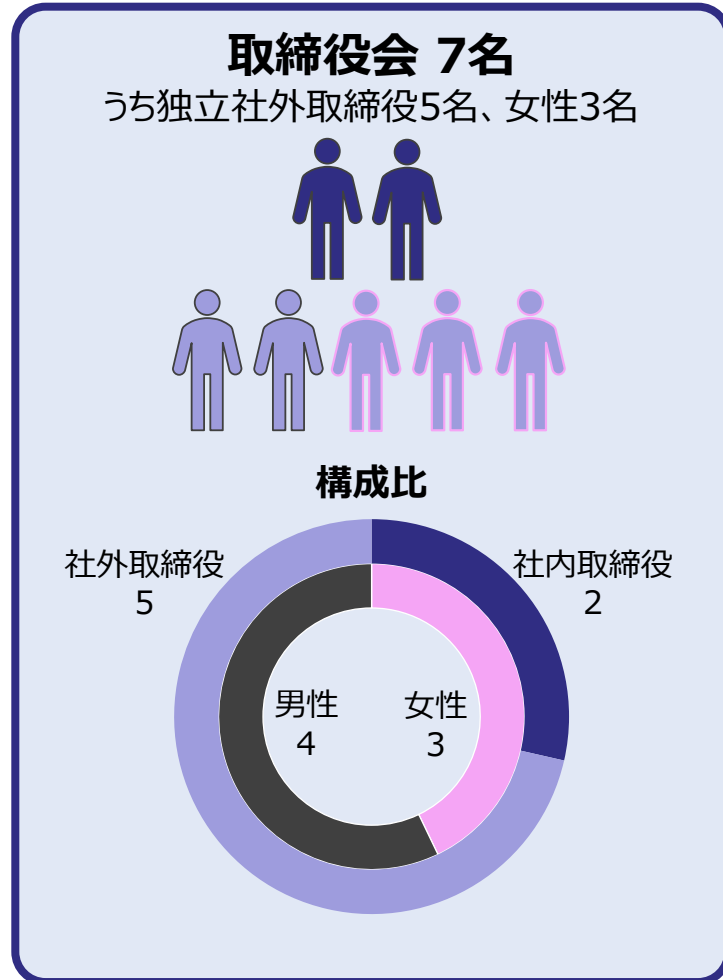
株式会社 F P G
(証券コード：7148)

金融で未来を拓く

私たちは、常にお客さまと伴走し、
金融で未来を拓く、
ファイナンシャルパートナーを目指します。

コーポレート・ガバナンス体制

- 当社取締役会は7名中5名が独立社外取締役となり、さらに7名中3名が女性取締役（内、1名は外国人）で構成され、高い独立性と多様性を確保しております
 また、監査役会は3名全員が独立社外監査役となります



第3四半期
業績
(累計)

- リースファンド事業と国内不動産ファンド事業が力強くけん引し、大幅な増収増益となり、3月22日公表の通期業績予想を第3四半期終了時点で大幅に超過
 - ✓ 売上高 813.1億円（前年同期比 +332.7億円、+69.3%）
 - ✓ 経常利益 234.7億円（前年同期比 +80.5億円、+52.2%）

通期業績予想
株主還元

- 前回予想の期中超過を踏まえ、7月29日に通期業績予想と配当金のさらなる上方修正を公表
- 期末配当は前回予想から17.85円増の67.10円とし、中間配当38.75円と合わせた1株当たり年間配当金（予想）は、105.85円に上方修正（前年比+32.85円）

第3四半期
トピックス

- リースファンド事業：CO₂削減に関連したトランジション・ファイナンスに係る大型船舶案件を主体に積極的な組成と販売を継続
- 国内不動産ファンド事業：2024年6月に過去最大の大規模案件として、「六本木ヒルズ森タワー」2フロアを組成。2024年3月に組成した「GINZA SIX」1フロアの販売も好調に推移し、組成と販売の好循環を加速させた結果、国内不動産ファンド事業の累計販売額が2,000億円を突破
- 海外不動産ファンド事業：2023年10月に組成し、販売を開始した第3号案件の米国テキサス州オースティン市の大規模集合住宅案件は2024年4月に完売。2024年5月には、第4号案件として米国ハワイ州のホテルを中核とした大型複合ビル「Hyatt Centric Waikiki Beach」を組成

業績ハイライト

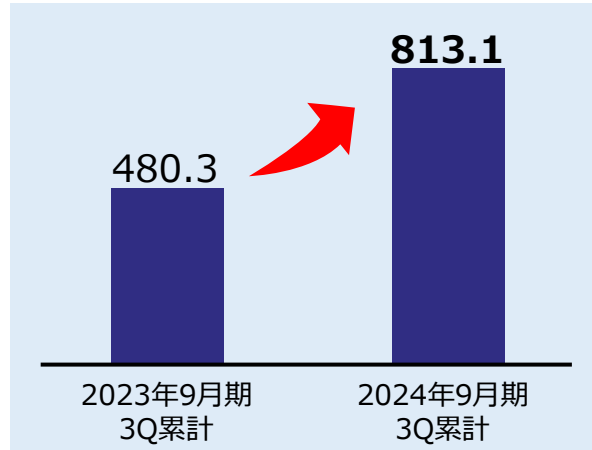
- リースファンド事業と国内不動産ファンド事業が力強くけん引し、大幅に増収増益
- 2年連続で通期ベースでの過去最高益を、第3四半期終了時点で更新

(金額：億円)

(金額：億円)

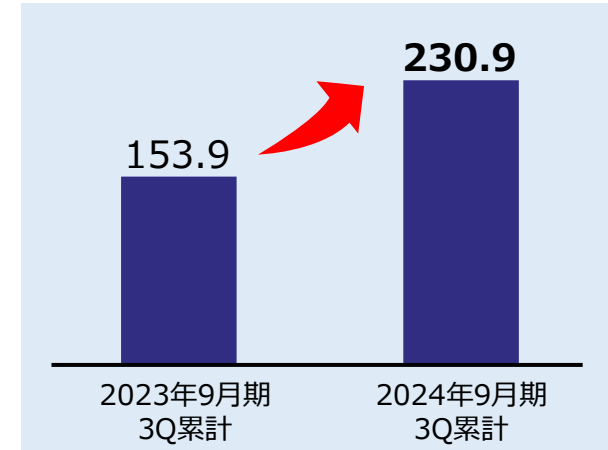
売上高

約 **1.7倍**



営業利益

約 **1.5倍**

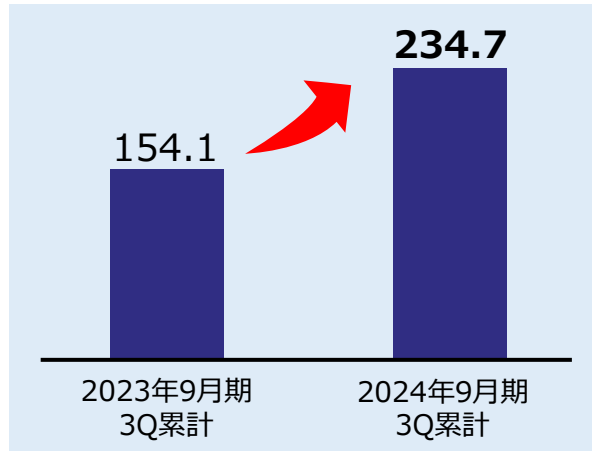


(金額：億円)

(金額：億円)

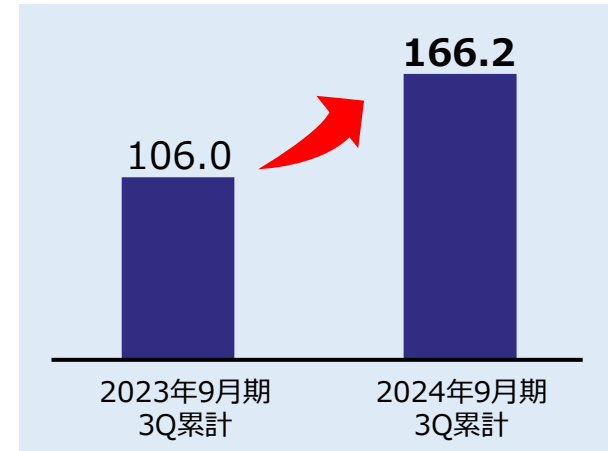
経常利益

約 **1.5倍**



純利益※

約 **1.6倍**



※ 親会社株主に帰属する四半期純利益

第3四半期累計実績と通期業績予想修正

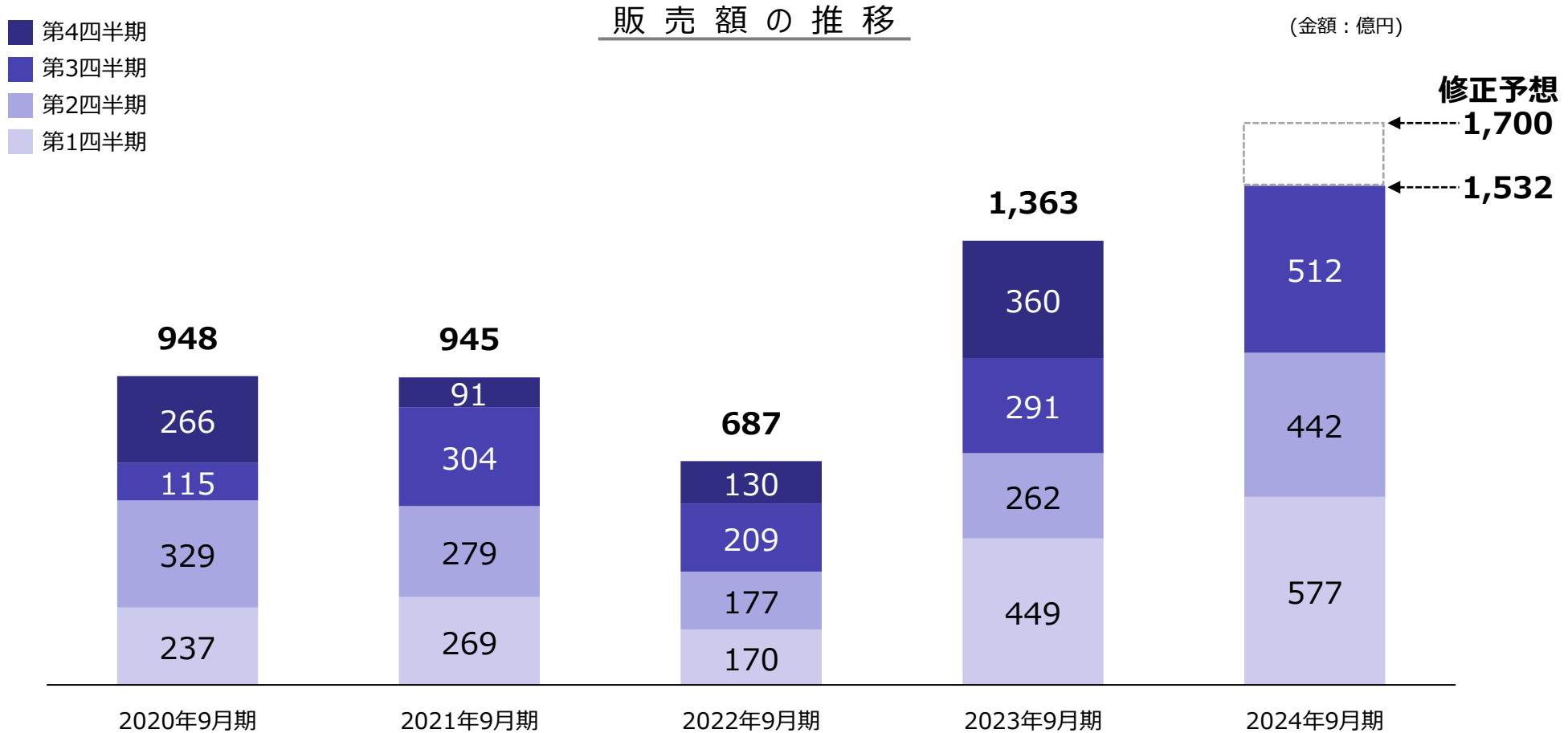
- リースファンド事業と国内不動産ファンド事業が力強くけん引し、大幅に増収増益
- 前回予想の期中超過を踏まえ、7月29日に通期業績予想と配当金のさらなる上方修正を公表

(金額：億円)

連結P/L	第3四半期累計				通期				
	2023年9月期 実績	2024年9月期 実績	対前年同期比		2023年9月期 実績	2024年9月期		対前年度比	
			増減額	増減率		前回予想 3/22公表	今回予想 7/29公表	増減額	増減率
売上高	480.3	813.1	+332.7	+69.3%	711.4	782.0	995.0	+283.5	+39.8%
売上総利益	212.9	304.6	+91.7	+43.1%	263.0	-	-	-	-
営業利益	153.9	230.9	+76.9	+50.0%	182.6	208.0	256.0	+73.3	+40.2%
経常利益	154.1	234.7	+80.5	+52.2%	179.8	210.0	260.0	+80.1	+44.5%
売上高経常利益率	32.1%	28.9%	-	-	25.3%	26.9%	26.1%	-	-
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	106.0	166.2	+60.1	+56.7%	124.6	150.0	180.0	+55.3	+44.4%
売上高当期（四半期）純利益率	22.1%	20.4%	-	-	17.5%	19.2%	18.1%	-	-
1株当たり年間配当金（円）	-	-	-	-	73.0	88.0	105.85	+32.85	-
事業別売上高									
リースファンド事業	176.0	236.5	+60.4	+34.3%	221.8	234.0	266.0	+44.1	+19.9%
国内不動産ファンド事業	277.0	552.4	+275.4	+99.4%	450.7	509.0	695.0	+244.2	+54.2%
海外不動産ファンド事業	18.8	19.3	+0.4	+2.3%	28.2	29.0	29.0	+0.7	+2.7%
その他事業	8.3	4.8	▲3.5	▲41.8%	10.6	10.0	5.0	▲5.6	▲53.0%
事業別売上総利益									
リースファンド事業	153.9	210.6	+56.6	+36.8%	174.3	-	-	-	-
国内不動産ファンド事業	37.6	75.8	+38.1	+101.2%	57.9	-	-	-	-
海外不動産ファンド事業	16.2	15.9	▲0.2	▲1.7%	23.9	-	-	-	-
その他事業	5.0	2.1	▲2.8	▲56.7%	6.8	-	-	-	-

リースファンド事業 販売

- 投資家の旺盛な需要に応え、積極的な販売を継続した結果、第3四半期累計期間として過去最高※を更新
- 通期予想を1,500億円から1,700億円に上方修正



※ 第3四半期累計期間として過去最高販売額：2018年9月期第3四半期 1,118億円

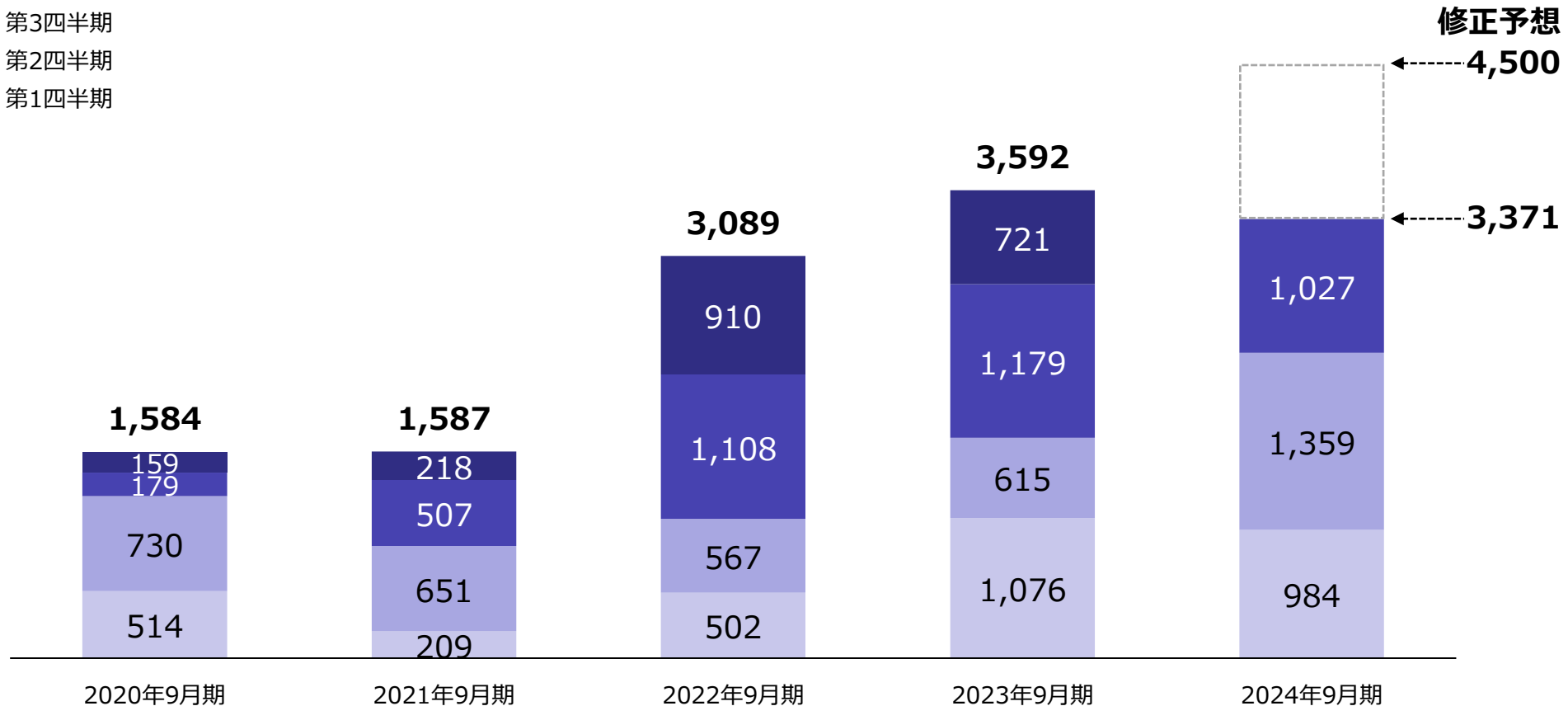
リースファンド事業 組成

- 船舶案件を主体とした組成を継続
- 第4四半期も積極的な組成を継続することから、通期予想を4,500億円に上方修正

組成額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



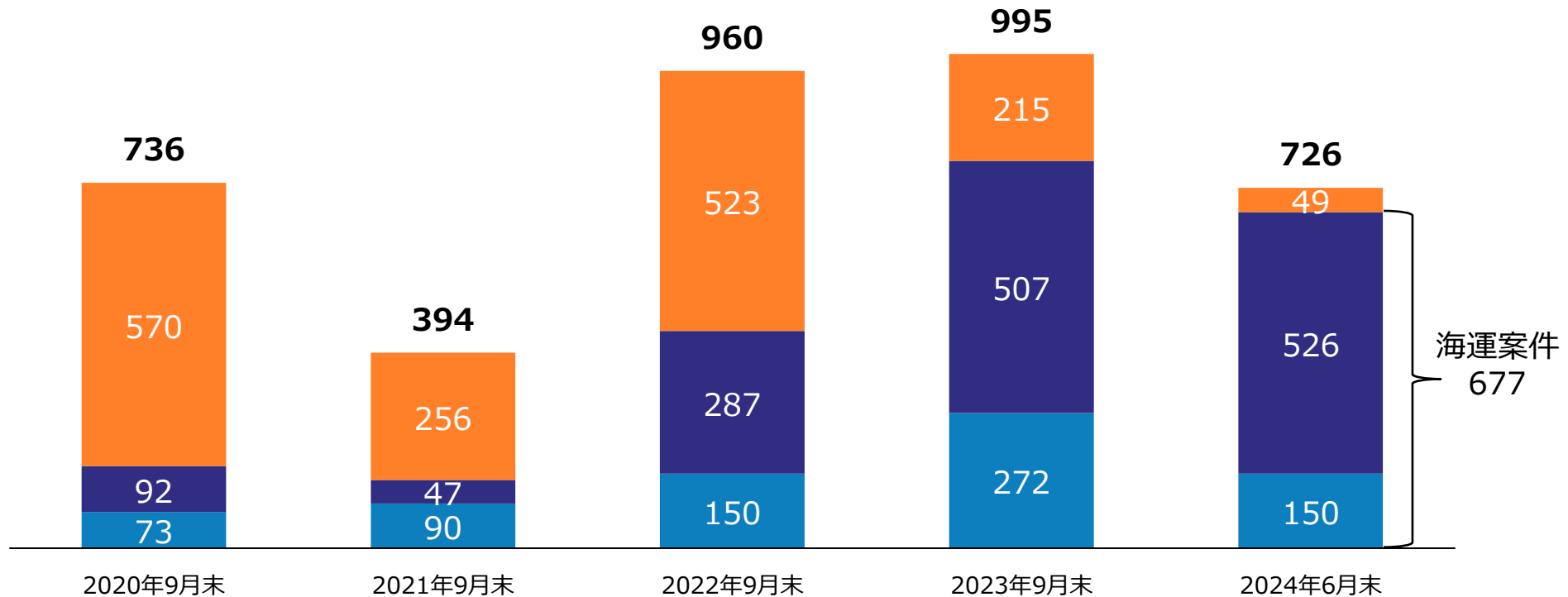
リースファンド事業 在庫

- CO₂削減に関連したトランジション・ファイナンスに係る大型船舶案件※を主体に、海運案件の在庫を確保する方針を継続
- 第4四半期も積極的な組成を継続することで、2024年9月期末の在庫水準は前期末程度となる想定

在庫の推移

(金額：億円)

- 航空機
- 船舶
- コンテナ



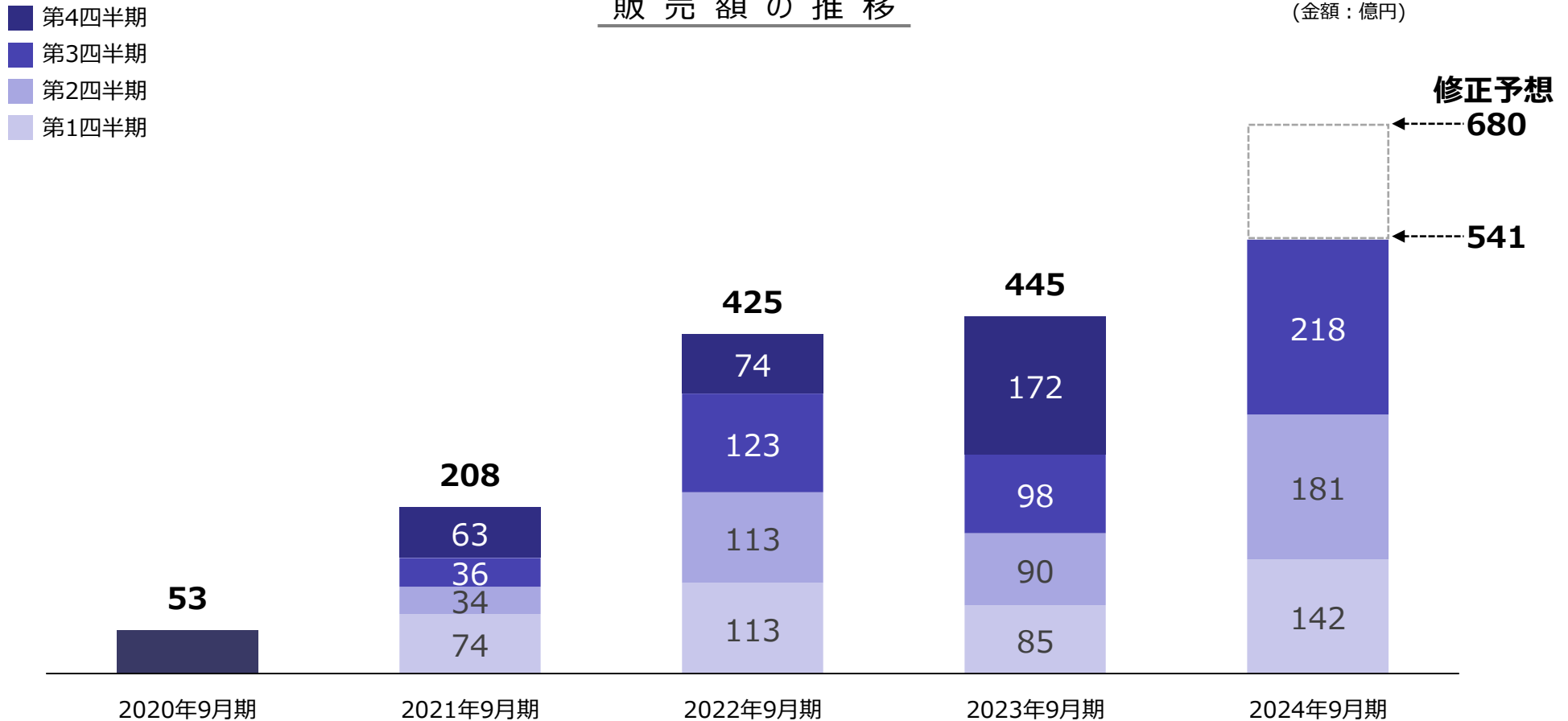
※ 2021年12月21日付 PR開示「[脱炭素社会への移行に貢献する「トランジション・ファイナンス」に関する大型案件受注のお知らせ](#)」
 2022年9月1日付 PR開示「[脱炭素社会への移行に貢献する「トランジション・ファイナンス」に関する新規大型案件受注のお知らせ](#)」

国内不動産ファンド事業 販売

- 投資家の旺盛な需要が継続し、通期ベースでの過去最高販売額※を第3四半期終了時点で大幅に更新
- 販売額の通期予想を、500億円から680億円に上方修正
- 組成と販売の好循環を加速した結果、累計販売額が2,000億円を突破
- 中期的に年間販売額1,000億円を目指す

販売額の推移

(金額：億円)



※ 通期ベースでの過去最高販売額：2023年9月期 445億円

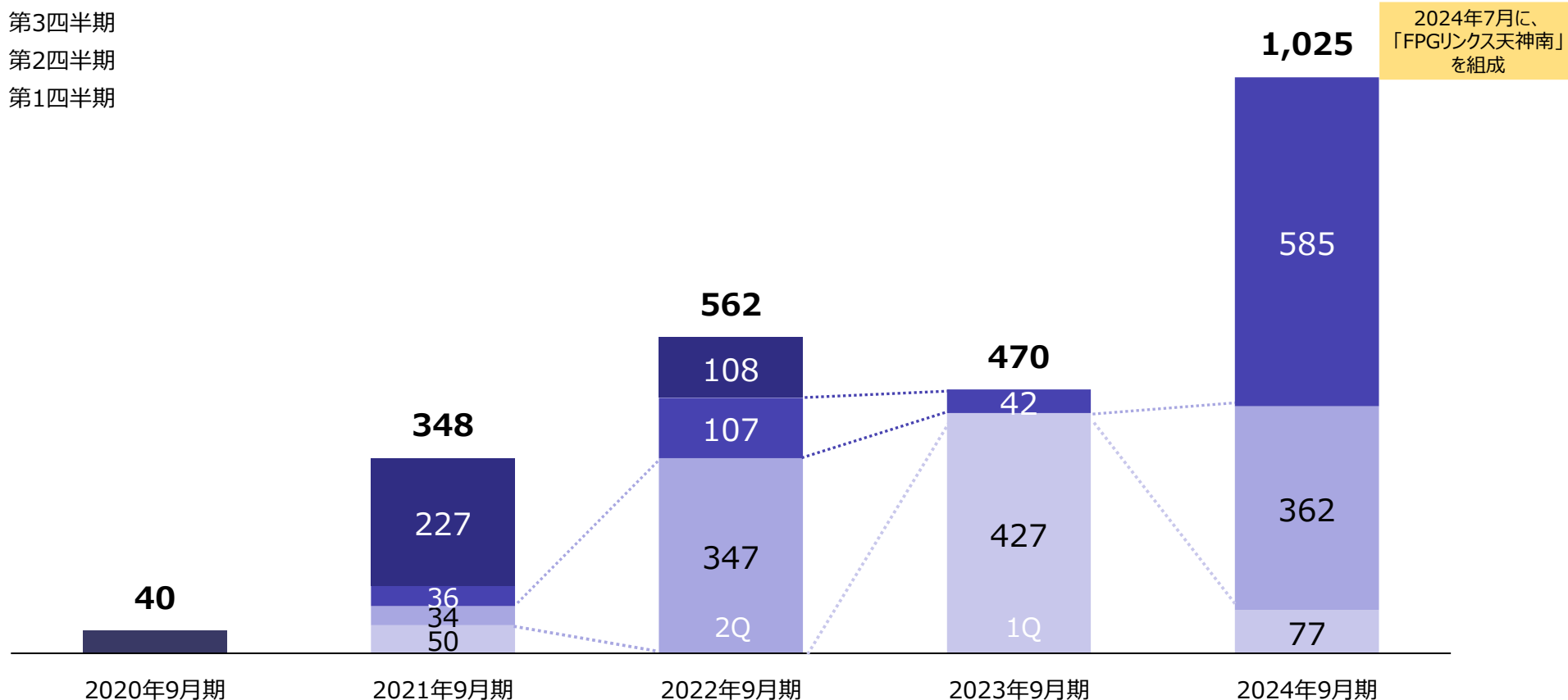
国内不動産ファンド事業 組成

- 2024年3月の「GINZA SIX」1フロア※1に続き、2024年6月には「六本木ヒルズ森タワー」2フロア※2と、大規模案件を2四半期連続で組成し、年間組成額は1,000億円を突破
- 旺盛な需要に応えるため、2024年7月には福岡市で6案件目となる「FPGリンクス天神南」※3を組成

組成額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



※1 2024年3月29日付 PR開示「組成用不動産(Premium Asset Series)の取得完了のお知らせ」

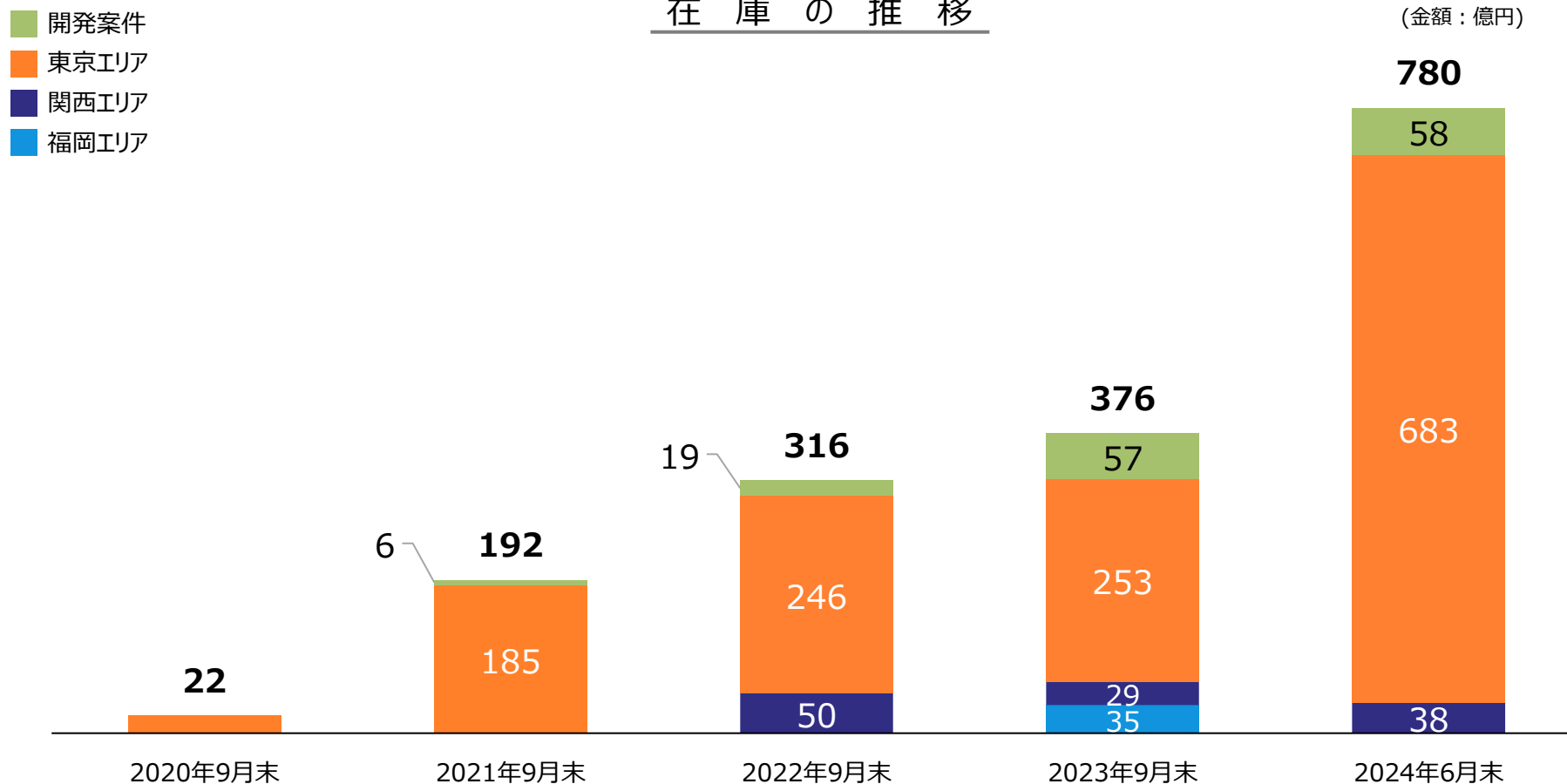
※3 2024年7月29日付 PR開示「組成用不動産(Premium Asset Series)の取得完了のお知らせ」

※2 2024年6月24日付 PR開示「過去最大の大規模案件となる組成用不動産(Premium Asset Series)の取得完了のお知らせ」

- 積極的な組成の継続により、来期以降の成長を見据えた在庫を確保

在庫の推移

(金額：億円)



国内不動産ファンド事業 直近の組成案件

- 2024年6月には過去最大の大規模案件となる、「六本木ヒルズ森タワー」2フロアを組成
- 2024年7月には「FPGリンクス天神南」を組成
- 2024年9月期の累計組成額は1,000億円超と、他社の追随を許さない圧倒的なスケールとなり、旺盛な需要に応える多様な在庫を確保



2024年7月組成※
FPGリンクス天神南
 福岡市における当社第6号
 案件となるオフィス・商業ビル

2024年6月組成
六本木ヒルズ森タワー
 六本木を代表する大型複合施設「六本木ヒルズ」
 のシンボルとなる「六本木ヒルズ森タワー」の18階と
 21階のフロア全体を組成

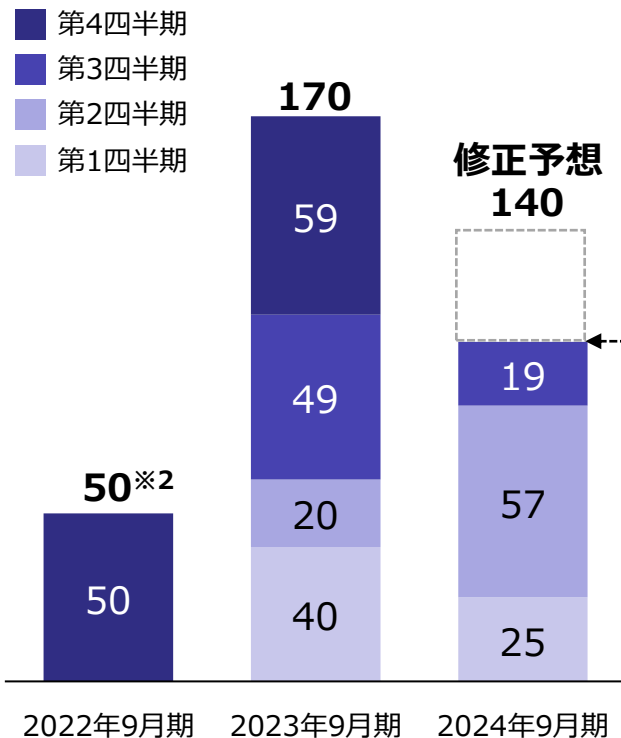
2024年3月組成
GINZA SIX
 銀座を代表する大型複合施設の11階の
 フロア全体を組成

2024年4月組成
FPGリンクス神戸元町
 初の神戸元町エリア案件

- 2023年10月に組成・販売を開始した、米国テキサス州オースティン市の第3号案件は、2024年4月に完売
- 2024年5月に、第4号案件として米国ハワイ州のホテルを中核とした大型複合ビル「Hyatt Centric Waikiki Beach」を組成※1するも、当初想定より販売開始時期が後ろ倒しとなったことを鑑み、通期販売予想額を180億円から140億円に下方修正
- 来期以降の成長を見据え、第4四半期に、第5号案件を取得予定

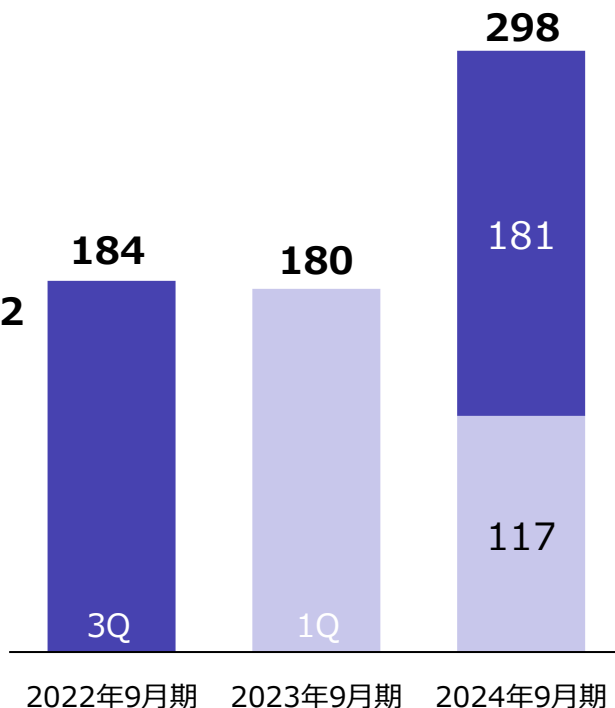
販売額の推移

(金額：億円)



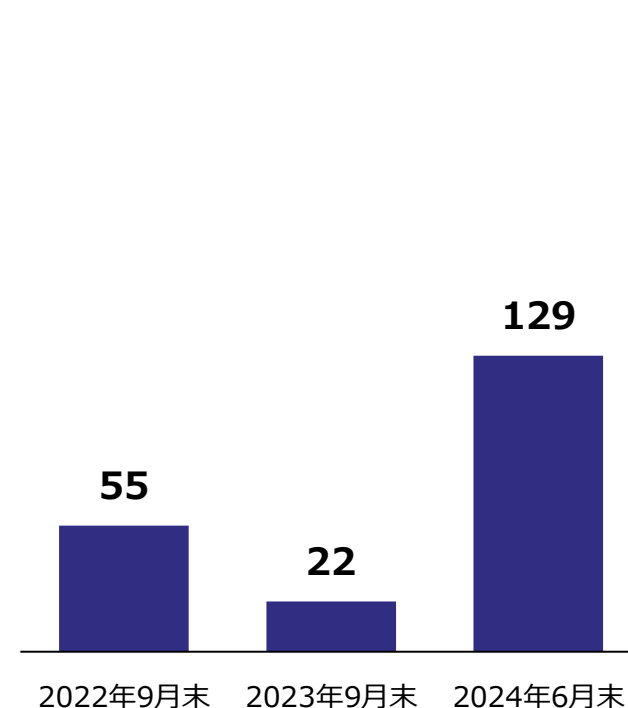
組成額の推移

(金額：億円)



在庫の推移

(金額：億円)



※1 2024年6月3日付 PR開示「[海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成用不動産の取得完了のお知らせ](#)」

※2 海外不動産は2022年6月より販売を開始

海外不動産ファンド事業の取り組み

- 2024年5月に、第4号案件として米国ハワイ州のホテルを中核とした大型複合ビル「Hyatt Centric Waikiki Beach」を組成。第4四半期には、第5号案件を取得予定

第4号案件 Hyatt Centric Waikiki Beach



所在地：米国ハワイ州ホノルル市
 用途：複合ビル（ホテル230室・店舗7区画・駐車場392台）
 竣工：1980年（2016年にオフィスからホテルへコンバージョン）
 土地面積：57,148 ft²（約5,309 m²）
 構造：鉄筋コンクリート

第1号案件(出資金販売総額105.1億円)
 米国ニューヨーク州エルムスフォード
 The View on Nob Hill

完売

第2号案件(出資金販売総額138億円)
 米国ハワイ州ホノルル市
 Queen Kapiolani Hotel

完売

第3号案件(出資金販売総額80.0億円)
 米国テキサス州オースティン市
 Onyx183

完売

第5号案件

COMING SOON

ご参考

(金額：億円)

	2023年9月期	2024年9月期 予想※	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	711.4	995.0	+283.5	+39.8%
営業利益	182.6	256.0	+73.3	+40.2%
経常利益	179.8	260.0	+80.1	+44.5%
売上高経常利益率	25.3%	26.1%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	124.6	180.0	+55.3	+44.4%
売上高当期純利益率	17.5%	18.1%	-	-
1株当たり年間配当金 (円)	73.00	105.85	+32.85	

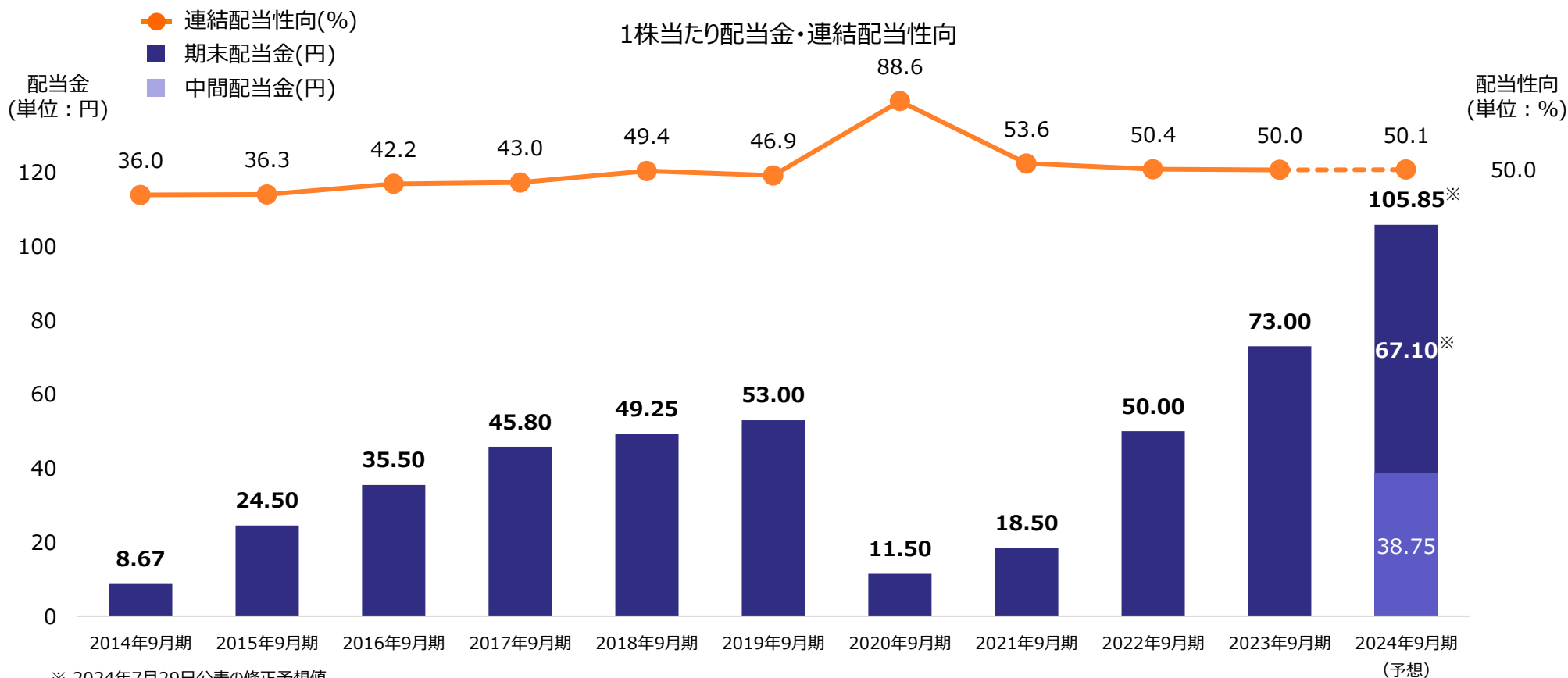
※ 2024年7月29日公表の修正計画値

(金額：億円)

事業別売上高	2023年9月期	2024年9月期 予想※	対前年比		
			増減額	増減率	
リースファンド事業	221.8	266.0	+44.1	+19.9%	
国内不動産ファンド事業	450.7	695.0	+244.2	+54.2%	
海外不動産ファンド事業	28.2	29.0	+0.7	+2.7%	
その他事業	10.6	5.0	▲5.6	▲53.0%	
合計	711.4	995.0	+283.5	+39.8%	
リースファンド事業	出資金販売額	1,363.3	1,700.0	+336.6	+24.7%
	組成額	3,592.1	4,500.0	+907.8	+25.3%
国内不動産ファンド事業	販売額	445.7	680.0	+234.3	+52.6%
海外不動産ファンド事業	販売額	170.3	140.0	▲30.3	▲17.8%

※ 2024年7月29日公表の修正計画値

- 基本方針：持続的な成長と企業価値向上のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施
 また、2024年9月期より中間配当の実施を開始
- 配当性向：連結配当性向 50%を目安とする
 - ✓ 2023年9月期 : 1株当たり年間配当金 73.00円
 - ✓ 2024年9月期（予想） : 1株当たり年間配当金105.85円※（前年比 32.85円増配）



連結損益計算書の概要

(金額：億円)

	2023年9月期 第3四半期累計	2024年9月期 第3四半期累計	対前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	480.3	813.1	+332.7	+69.3%
① 売上原価	267.4	508.5	+241.0	+90.1%
売上総利益	212.9	304.6	+91.7	+43.1%
販売費・一般管理費	58.9	73.7	+14.7	+25.0%
営業利益	153.9	230.9	+76.9	+50.0%
② 営業外収益	21.3	22.7	+1.4	+6.7%
③ 営業外費用	21.1	18.9	▲2.1	▲10.0%
経常利益	154.1	234.7	+80.5	+52.2%
税引前四半期純利益	152.9	240.2	+87.2	+57.1%
法人税等合計	46.6	73.8	+27.1	+58.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	106.0	166.2	+60.1	+56.7%

① 売上原価

不動産取得原価、リースファンド事業
案件組成コスト、顧客紹介者への
支払手数料等を含む

② 営業外収益

一時的に立替えた出資金を投資家
に販売する際に徴収する立替利息
(受取利息として計上)、
金銭の信託運用益等を含む

③ 営業外費用

資金調達に伴う支払利息等

連結貸借対照表の概要

(金額：億円)

資産	2023年9月期	2024年9月期 第3四半期末	増減額
流動資産	1,682.9	2,033.6	+350.7
現金預金	159.8	189.8	+30.0
① 商品出資金	834.0	806.0	▲27.9
② 金銭の信託（組成用航空機）	183.8	49.9	▲133.9
③ 組成用不動産	376.3	780.9	+404.6
固定資産	153.8	76.7	▲77.1
資産合計	1,836.7	2,110.3	+273.6
負債・純資産	2023年9月期	2024年9月期 第3四半期末	増減額
流動負債	1,209.9	1,002.5	▲207.4
短期借入金等	949.0	758.1	▲190.9
④ 契約負債	137.1	147.6	+10.5
固定負債	183.7	600.5	+416.7
長期借入金等	180.3	595.0	+414.6
負債合計	1,393.7	1,603.1	+209.3
純資産合計	442.9	507.2	+64.2
負債純資産合計	1,836.7	2,110.3	+273.6

① 商品出資金

リースファンド事業および海外不動産ファンド事業において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金

② 金銭の信託（組成用航空機）

航空機リース案件に係る信託受益権の在庫

③ 組成用不動産

国内不動産ファンド事業における在庫

④ 契約負債

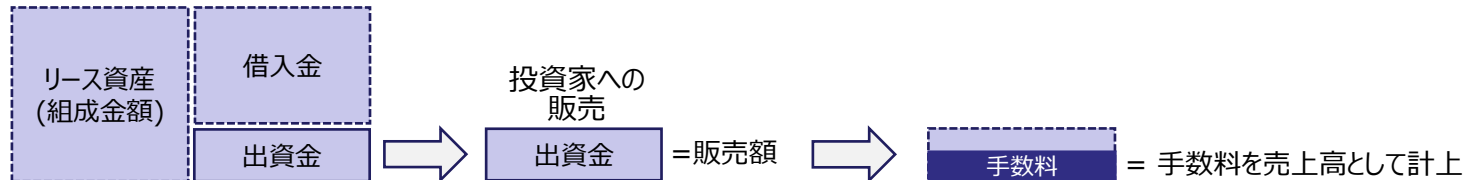
主にリースファンド事業および海外不動産ファンド事業における手数料

本資料中の事業区分と売上高について

■ 本決算説明資料では、当社の事業を以下4つの事業区分に分けて説明しております。

リースファンド事業

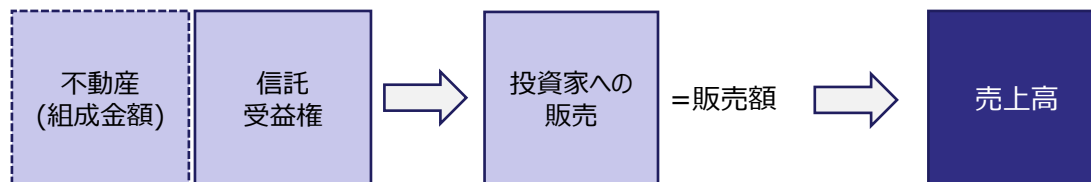
航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業（リースファンド事業）の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しています。なお、投資家への組合出資持分・信託受益権の販売額は売上高として計上していません。



国内不動産ファンド事業

不動産小口化商品

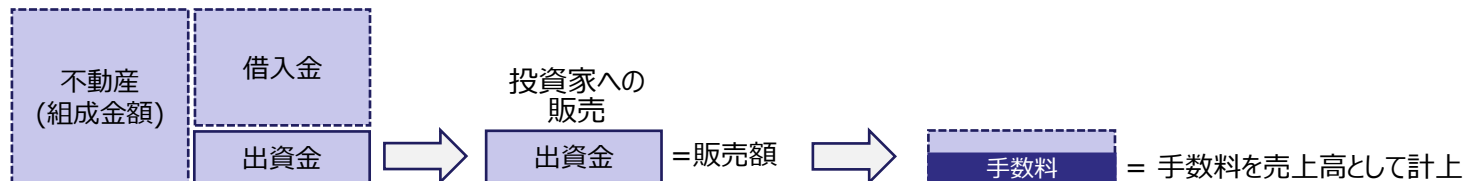
株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っており、投資家への販売額等を、売上高として計上しています。



海外不動産ファンド事業

海外不動産投資商品

海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成・管理および投資家への任意組合出資持分の販売を行っています。売上高は、集団投資事業案件の組成におけるアレンジメント・フィー、任意組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等が計上されます。なお、投資家への任意組合出資持分の販売額は売上高として計上されません。



その他事業

保険事業、M&A事業、航空事業、共同保有プラットフォーム事業等を総称して、「その他事業」としています。

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G

担当部署：経営企画部

TEL: (03) 5288-5691 E-mail: ir@fpg.jp URL: <https://www.fpg.jp/ir/inquiry.html>